

工業「工業技術実践」(選択科目)	単位数	3単位
	学科・学年	建築科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	年間を通して企業実習を実施し、实际的でより高度な専門的な知識・技術習得を目指す。そして、産業社会と自分たちのかかわりを考えるとともに、自己の将来の進路を考える。
使用教科書・副教材等	自作プリントや自作教材など

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査
1 学期	1 建設業について	4	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業の内容を理解する。 ・企業実習の準備として、専門的な知識・技術・技能の習得を行う。 	/
	2 測量実習	5		
		6		
		7		
2 学期	3 事前指導	8	<ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムを理解する。 ・希望する企業における専門的な技術・知識・技能を習得する。 	/
	4 企業実習	9		
		10		
		11		
		12		
3 学期	5 事後指導	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実習内容のプレゼンテーション資料を作成する。 ・実習内容を発表する。 	/
	6 実施報告	2		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場実習の意義をより高度に理解し、積極的に取り組んでいるか。 ・職業資格と進路選択の可能性との関連を理解し、積極的に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場の状況に応じて、主体的に努力目標を立てることができるか。
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な学習方法を工夫し、実行できるか。 ・産業現場において自己を律し、適切な態度と行動を示すことができるか。
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・職業資格の意義を理解し、取得に必要な知識・技術を体得しているか。 ・勤労の厳しさ、責任の重さを理解できているか。 ・コンピュータの利用（インターネット、アプリケーションソフト）ができるか。
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価については、上記の4つの観点を含めた企業の評価、自己評価、学習態度、体験活動状況、記録ノートなどの提出物、出席状況などにより総合的に評価します。 ・学年末の成績は、1学期から3学期までの成績を総合的に判断して評価する。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場での実習は、特に安全面に気を付け目的を達成できるように努力してください。 ・「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。」と目標にあります。これから起こりうるいろいろな事象に対して自ら臨機応変に対処するための手段と方法を体得し、多面的な角度から課題に挑戦する機会が得られるので楽しく学習できます。 ・先生または指導者の話をよく聞き、自分から質問する等積極的に行動してください。
--